

単元構成表【公民的分野】

平成28年度 北海道教育大学附属函館中学校社会科

単元名	(1) 私たちと現代社会 イ 現代社会をとらえる見方や考え方
教科用図書での単元名 (頁数)	東京書籍「新編 新しい社会 公民」 第1章 わたしたちの生活と現代社会 3節 現代社会の見方や考え方 (p. 24-31)
学習指導要領における内容	人間は本来社会的存在であることに着目させ、社会生活における物事の決定の仕方、きまりの意義について考えさせ、現代社会をとらえる見方や考え方の基礎として、対立と合意、効率と公正などについて理解させる。その際、個人の尊厳と両性の本質的平等、契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任などに気付かせる。
学習指導要領における内容の取扱い	「(1) 私たちと現代社会」については公民的分野の導入部として位置付け、ア、イの順で行うものとし、適切かつ十分な授業時数を配当すること。

単元の指導目標		人間は本来社会的存在であることに着目させ、社会生活における物事の決定の仕方、きまりの意義について考えさせ、現代社会をとらえる見方や考え方の基礎として、対立と合意、効率と公正などについて理解させる。
単元の評価規準	社会的事象への関心・意欲・態度	社会生活における物事の決定の仕方、きまりの意義に対する関心を高め、それらを意欲的に追究している。
	社会的な思考・判断・表現	社会生活における物事の決定の仕方、きまりの意義について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。
	資料活用 の技能	社会生活における物事の決定の仕方、きまりの意義に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。
	社会的事象についての知識・理解	社会生活における物事の決定の仕方、きまりの意義と、現代社会を捉える見方や考え方の基礎としての対立と合意、効率と公正などについて理解し、その知識を身に付けている。
単元を貫く学習課題		本校教員が出席して開かれた職員会議で策定された「生徒は学校内において、携帯電話やスマートフォンを所持・使用することができる」というきまりに賛成か、条件付賛成か、反対か？
「単元を貫く学習課題」設定のための手立て		多くの生徒にとって日常生活に欠かすことのできないツールとなっている携帯電話やスマートフォンを学校に持参できるというきまりへの追究に対しては、生徒の意欲が高いものと考え、昨年度設定した単元を貫く学習課題を単元前に提示し、多くの生徒が意欲的に自分の意見を表明するとともに他者とも意見を述べあう活動を導き設定する。

時数	題材	指導内容	
		本時の学習課題	「単元を貫く学習課題」を解決するための知識等
pre	「単元を貫く学習課題」に対する単元学習前の取組	「単元を貫く学習課題」に対する単元学習前の自らの考えや判断を論述 本校教員が出席して開かれた職員会議で策定された「生徒は学校内において、携帯電話やスマートフォンを所持・使用することができる」というきまりに賛成か、条件付賛成か、反対か？	・職員会議では生徒の学校生活に関わる事柄が議題となる。 ・実際の本校のルールでは、携帯電話やスマートフォンの持ち込みは禁止となっている。
1	1 社会集団の中で生きる私たち 2 効率と公正	人間という社会的存在が属する社会集団における、考え・欲求・意見の違いによって生じる対立や合意への努力、効率と公正の考え方による解決策の決定について 附属函館中学校の体育館使用のきまり（使用学年の割り振り）は、生徒全員が納得できるものになっているか。	・社会集団において生じる対立を合意へ導く解決策としてのきまりが、社会集団の全員が納得できる妥当性のあるものかを判断するための考え方として、「効率」と「公正」がある。
2	3 きまりをつくる目的と方法	きまりの意義やその内容としての権利・義務・責任および決定・採決のしかたについて 社会集団のちがいで、どのような決定・採決のしかたをとるべきか。	・きまりには、対立を事前に調整・解決・未然防止する役割がある。 ・決定の仕方には「全員で話し合う」「代表者で話し合う」「一人で決定する」があり、採決の仕方には「全会一致」「多数決（過半数・特別多数・比較多数など）」がある。
3	4 きまりの評価と見直し	評価に基づいたきまりの変更・見直しについて 附属函館中学校の体育館使用のきまりをどのように改正すべきか。	・きまりは状況の変化に応じて変更することができる。変更の妥当性についても「効率」と「公正」の考え方を活用することができる。
4	単元のまとめ	現代社会をとらえる見方や考え方の基礎としての効率と公正について 本校教員が出席して開かれた職員会議で策定された「生徒は学校内において、携帯電話やスマートフォンを所持・使用することができる」というきまりに賛成か、条件付賛成か、反対か？	*これまでの経験や既習のすべての知識等